

2022.10月速報 業況DIは、3カ月ぶりの改善もコスト増が重荷に 先行きは、円安や物価高の継続への警戒感強まる

全産業合計の業況DIは、▲20.7（前月比+2.6ポイント）。水際対策の緩和や全国旅行支援による客足の回復で、飲食・宿泊業などのサービス業や、百貨店などの小売業で業況が改善しました。また、卸売業も小売業・サービス業向けの引き合い増加に牽引される形で、製造業も消費者向けの飲食品関連や日用品の受注増により業況が改善しました。一方、建設業では、建設資材価格の高騰が続いており、価格転嫁も十分に行えず、業況悪化が継続しました。感染状況が小康状態となり、売上増加が見込まれるも、資源・原材料価格高騰の長期化や、150円台まで進んだ円安等によるコスト増がさらなる重荷となり、中小企業の業況は改善を示すも力強さを欠いています。

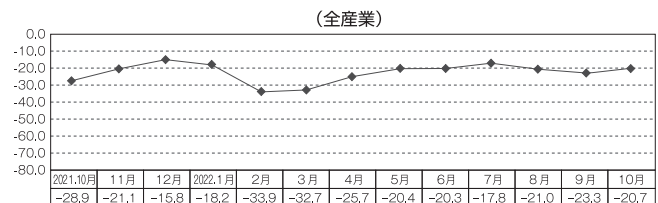
【産業別概況と見通し】 前月と比べたDI値の動き ➡改善 ➡ほぼ横ばい ➡悪化

 建設業	設備投資や住宅建設関連等の民間工事は堅調に推移するものの、建設資材価格や燃料価格の高騰に加え、資材や重機の納期遅れによる工期長期化で人件費負担も増加し、悪化。 「民間工事は引き合いも増加し、今後も受注が見込めそうである。一方で、公共工事は受注数があまり無く、入札があったとしても資材価格や燃料価格の高騰によるコスト分が転嫁できず、採算悪化となる厳しい状況が続いている」（一般建設業） 「国際的なサプライチェーンの混乱が継続しており、資材や重機の納期が遅れることで人件費負担も増加している」（管工事業）
 製造業	円安による輸入部材の高騰や燃料価格の上昇等によるコスト負担は継続するものの、人流の回復による飲食・宿泊関連の飲食料品や小売店向けの日用品の受注増加が寄与し、改善。 「取引先の飲食店の客足回復に伴って、受注数は伸びている。さらなる経営改善に向けて、外注していた一部製品について内製化を検討している。生産性向上もあわせて設備投資を実施していく。」（調味料製造業） 「受注数は増加傾向にある。一方で、円安の影響で輸入部品の価格高騰が続いており、価格転嫁のタイミングを図っている」（一般産業用機械製造業）
 卸売業	燃料価格の上昇による輸送費や包装資材の高騰は継続する一方、百貨店などの小売業向け日用品や飲食・宿泊業向け飲食料品を中心に引き合いが増加し、改善。 「観光関係や飲食・宿泊業向けの納品が増加しており、売上は回復基調にある。しかし、円安や原材料価格の高騰により仕入価格が上昇する中で、人手不足対策のための人件費増も重なり、販管費の削減を徹底する必要がある」（食料・飲料卸売業） 「仕入価格の上昇分については、価格転嫁が行えている。今後は増加した販管費分を、いかに販売価格に転嫁するかが重要である」（家具・建具等卸売業）
 小売業	円安による輸入品の仕入価格の上昇等、コスト負担は増加しているものの、水際対策の緩和や全国旅行支援により、高額品の需要が堅調に推移した百貨店を中心に、改善。 「感染状況も落ち着き、外国人観光客の再来も重なり、売上が改善してきた。一方、円安による輸入品の価格高騰等、コスト負担は増加し続けているため、消費者のニーズに合った販売促進を進めるとともに、採算悪化を防ぐため、経費削減にも努めていく」（百貨店） 「店舗への客足の回復による売上増加に加え、コロナ禍を契機に始めたEC事業の売上も円安が功を奏し、大きく伸長している」（土産品小売業）
 サービス業	全国旅行支援の再開やイベント割の開始に伴う人流の回復により、飲食・宿泊業や旅行業を中心に改善。一方で、経済活動が正常化に向かう中で、人手不足の深刻化を懸念する声が聞かれた。 「全国旅行支援の再開や、水際緩和による外国人観光客の戻りにより、旅行者数が増加し、売上が回復してきている。コロナ禍の出口が見え始めてきた。このまま感染が落ち着き、観光需要に拍車がかかることを期待する」（宿泊業） 「少人数客での宴会はコロナ禍前程度まで戻ってきた。しかし、客数に見合う従業員の確保が出来ておらず、人手不足が深刻化している」（飲食業）

業況DIの推移

	2022年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	見通し 11~1月
全産業	▲20.4	▲20.3	▲17.8	▲21.0	▲23.3	▲20.7	▲22.2
建設業	▲31.3	▲29.3	▲28.7	▲26.4	▲28.7	▲29.9	▲26.3
製造業	▲15.4	▲19.8	▲17.9	▲18.9	▲23.3	▲20.1	▲24.1
卸売業	▲20.2	▲22.0	▲18.1	▲24.8	▲27.2	▲21.1	▲23.2
小売業	▲31.8	▲32.2	▲25.2	▲30.7	▲31.9	▲29.4	▲32.0
サービス業	▲9.3	▲4.4	▲4.1	▲10.2	▲11.4	▲8.1	▲9.4

※見通しは、当月に比べて向こう3ヶ月の先行き見通しDI



※調査期間：2022年10月14日～20日

全国330商工会議所が2,541企業にヒアリング

※DI値（景況判断指数）

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準として、景況感の相対的な広がり意味する。

県内企業倒産発生状況

前年同月と比べて件数・負債総額共に減少

〈令和4年10月概況と見通し〉

「ゼロゼロ融資」等の資金繰り支援策は、倒産抑制に繋がった反面、過剰債務を誘発しており、債務を抱えた企業の資金調達が改めて注目されています。金融機関も生き残りを掛けて支援先の選別を進めているとも言える状況です。日銀が為替介入を実施するも10月後半には150円台に達するなど円安に歯止めが掛からない他、ロシアによるウクライナ侵攻問題等も重なって資源高が重くなり、物価の上昇スピードは早まっています。

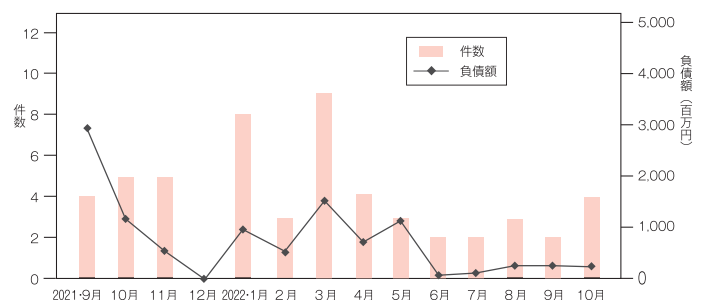
ます。中小企業はコスト上昇分の価格転嫁が未だ不十分であり、加えてアフターコロナに向け人手不足も顕在化しつつあり、人材確保の為に人件費アップは避けて通れず、収益確保に苦慮している企業は正に正念場を迎えています。年末に向け資金需要が高まる中で、資材高や人件費上昇等の懸念材料を抱えており、倒産動向は急激に押し上げる格好で増勢を強める可能性を否定出来ない状況です。

山形県 月別倒産件数 負債額

	東南置賜		山形県	
	件数	負債金額 百万円	件数	負債金額 百万円
令和4年10月	0	0	4	228
前月比(%)	-	-	200.0	95.0
前年同月比(%)	-	-	80.0	19.0

東南置賜…米沢・南陽・高畠・川西

資料／東京商工リサーチ



県内消費者物価指数 前年の水準を上回った

令和4年9月	指数	前月比(%)	前年同月比(%)
食料	31,624	0.3	3.8
住居	110,294	0.0	2.5
光熱・水道	11,529	▲0.1	11.2
家具・家事用品	77,013	▲0.8	2.7
被服及び履物	1,091,161	0.4	4.0
保健医療	6,628	0.2	▲0.2
交通・通信	12,056	0.2	0.7
教育	31,429	0.0	0.7
教養娯楽	248,310	1.6	1.6
諸雑費	10,395	▲0.1	0.6
総合	1,630,439	0.2	3.1

資料：山形県みらい企画創造部統計企画課

百貨店・スーパーの商品別販売額 県内の販売額は前年を上回った

令和4年9月 (単位：百万円、%)

品目	全 国		山 形 県	
	百貨店＋スーパー		百貨店＋スーパー	
	販売額	前年同月比 全店舗	販売額	前年同月比 全店舗
紳士服・洋品	31,624	11.7	113	▲9.6
婦人・子供服・洋品	110,294	16.7	121	▲7.6
その他の衣料品	11,529	▲2.9	20	56.8
身の回り品	77,013	28.2	24	▲15.9
飲食物品	1,091,161	1.1	9,513	0.1
家具	6,628	▲0.5	58	▲5.1
家庭用電気機械器具	12,056	▲1.8	39	5.4
家庭用品	31,429	1.6	259	2.8
その他の商品	248,310	10.0	624	3.6
食堂・喫茶	10,395	54.2	27	6.1
合計	1,630,439	4.8	10,808	0.1

経済産業省 東北経済産業局調べ

(注：販売額は四捨五入の関係で合計とは一致しない場合があります)

米沢市の人口と世帯数

令和4年9月1日現在

人口 79,601人 (80,415人)

世帯数 33,677世帯 (33,377世帯) 一世帯当たり 2.36人 (2.41人)

() 内前年同月データ

資料／米沢市政策企画課統計調査担当

一般職業紹介 有効求人倍率は前年を0.33ポイント上回った

米沢市

新規学卒除きパートタイム含む

		求人数	求職数	求人倍率	充足数
令和4年9月	有効	3,212	2,076	1.55	218
	新規	1,124	492	2.28	－
前月比(%)	有効	100.6	100.6	102.6	126.7
	新規	85.7	85.7	107.5	－
前年同月比(%)	有効	67.3	67.3	127.0	93.6
	新規	65.2	65.2	109.6	－

充足数…自安定所の有効求人が安定所の紹介により、求職者と結合した件数

職種別 (山形県)

	求人数	求職者数	求人倍率
管 理	67	61	1.10
専門・技術	3,941	1,741	2.26
事務	2,470	3,834	0.64
販売	3,174	1,094	2.90
サービス	4,511	1,697	2.66
保安	538	83	6.48
農林漁業	270	180	1.50
生産工程	4,433	2,025	2.19
輸送・機械運転	1,202	530	2.27
建設・採掘	1,741	218	7.99
運搬・清掃	2,322	2,731	0.85
その他	0	1,619	－

(主要業務指数・パートタイムを含む全数)

資料：山形労働局職業安定課

米沢市建築確認申請状況 (専用住宅) 件数、床面積とも前年を上回った

令和4年10月		件 数			床 面 積 (㎡)		
		2・3号建築物	4号建築物	小 計	2・3号建築物	4号建築物	小 計
	総 数	0	12	12	0	1,355	1,355
	新 築	0	11	11	0	1,255	1,255
	増 築	0	1	1	0	100	100
前月比(%)	総 数	0.0	109.1	100.0	0.0	93.6	87.3
前年同月比(%)	総 数	－	120.0	120.0	－	104.9	104.9

専用住宅 2・3号建築物…建築基準法第6条第1項2・3号建築物 (木造3階建築物、木造以外の2階以上建築物など)

4号建築物…建築基準法第6条第1項4号建築物 (2・3号に挙げる建築物以外、木造2階住宅など)

